

圓谷昂史¹・鈴木明彦²：2019年秋季の北部北海道日本海側におけるギンカクラゲの漂着
 Takafumi ENYA¹ and Akihiko SUZUKI²：Stranding record of the blue botton *Porpita porpita* on the coast of the Japan Sea side of northern Hokkaido, Japan in the fall of 2019.

ギンカクラゲ *Porpita porpita* (Linnaeus, 1758) は、ヒドロ虫綱花クラゲ目に属し、キチン質の円盤状の浮囊を持ち、海面付近で浮遊生活をおくる群体性のクラゲである(峯水ほか2015)。本種は、熱帯～温帯海域に広く分布し、本州以南ではたびたび大量漂着が確認されている(例えば、中西1999, 久保田・田名瀬2007など)。北海道における漂着は、2007年に中央北海道日本海側の石狩湾沿岸、北部北海道日本海側の羽幌町沿岸で初めて報告(志賀ほか2008)され、その後も日本海側を中心に確認されている(例えば、鈴木ほか2017, 志賀ほか2019)。2019年10月には、太平洋側の苫小牧市で初めて漂着が確認されている(江崎 2020)。今回、2019年秋季に、北部北海道日本海側の複数の地点でギンカクラゲの漂着を確認したので報告する。

本調査は、2019年10月8日～10月10日に、留萌市から天塩町までの7市町村で行った(図1)。いずれの海岸も、外洋性の砂浜海岸である。海岸約100mを1時間ほど踏査し、確認できたギンカクラゲは、撮影と浮囊の計測を行い採集した。

採集したギンカクラゲは、留萌市沖見町の海岸で1個体、羽幌町港町の海岸で8個体の合計9個体である。浮囊の直径は24～34mmであった。羽幌町で確認した個体は、すべて汀線付近に集合して打ち上げられており、浮囊と軟体部はほぼ保存されていた(図2)。一方、留萌市で確認できた個体は、やや内陸寄りで見え、軟体部は保存されていなかった。

ギンカクラゲは、海面付近で浮遊生活を送ることから、その漂流-漂着メカニズムは風向と風速に大きく依存すると指摘されている(志賀・石橋 2013)。気象庁のウェブサイトにおいて、漂着を確認した日の直前の西風(海から陸向きへの風)の発生状況に着目すると、羽幌町では漂着日の前日から継続して西風が卓越していた。一方、留萌市では漂着日の2日前に観測されていたのみであったことから、この個体は漂着後数日が経過していたものと推察される。また、当時の海面水温は18.1～18.5℃であり、平年より1℃程高い値を示していた(気象庁HP)。

2005年以降、北海道では“暖流系漂着物”の発見が相次いでいる。今後も、継続的な調査が望まれる。

謝辞

本研究には、日本学術振興会科学研究費(若手研究19K13427, 基盤研究C19K03107)、北海道博物館研究プロジェクト「北海道における漂着生物についての基礎的情報の収集と博物館での活用」を使用した。

引用文献

江崎逸郎. 2020. 砂浜の銀貨. 苫小牧市美術博物館(あみゅー)ニューズレター(美術博物館だより) 7: 2.
 気象庁HP (http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/daily_sl.php?prec_no=13&block_no=47406&year=2019&month=10&day=&view=) (2020年6月18日閲覧)
 久保田信・田名瀬英明. 2007. 和歌山県田辺湾におけるギンカクラゲ *Porpita pacifica* (盤クラゲ目, ギンカクラゲ科) の冬季の異例な漂着. 南紀生物49: 41-42.
 峯水 亮・久保田信・平野弥生・ドゥーグル=リンズィー. 2015. 日本クラゲ大図鑑, 360pp. 平凡社, 東京.
 中西弘樹. 1999. 漂着物学入門, 216pp. 平凡社, 東京.
 志賀健司・石橋孝夫. 2013. 石狩湾沿岸で2012年に見られたギンカクラゲの大量漂着. 石狩砂丘の風資料館紀要 3: 37-42.
 志賀健司・工藤友紀・石郷岡ゆりか. 2019. 2018年秋に北海道西部日本海側で見られたアサガオガイ科貝類の漂着. 漂着物学会誌17: 27-29.
 志賀健司・中司光子・鈴木明彦. 2008. 北海道におけるギンカクラゲの初漂着. 漂着物学会会報(どんぶらこ) 26: 6.
 鈴木明彦・圓谷昂史・志賀健司・小林真樹・石川慎也. 2017. 北海道沿岸へ漂着した暖流系浮表性巻貝類とクラゲ類. 地球科学71: 89-91.

(Received July 3, 2020; accepted Aug. 18, 2020)

¹ 〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2 北海道博物館

¹ Hokkaido Museum, 53-2 Konopporo, Atsubetsu-cho, Atsubetsu-ku, Sapporo 004-0006, Japan

² 〒002-8502 札幌市北区あいの里5-3-1 北海道教育大学札幌校地学研究室

² Department of Earth Science, Sapporo Campus, Hokkaido University of Education, 5-3-1 Ainosato, Kita-ku, Sapporo 002-8502, Japan

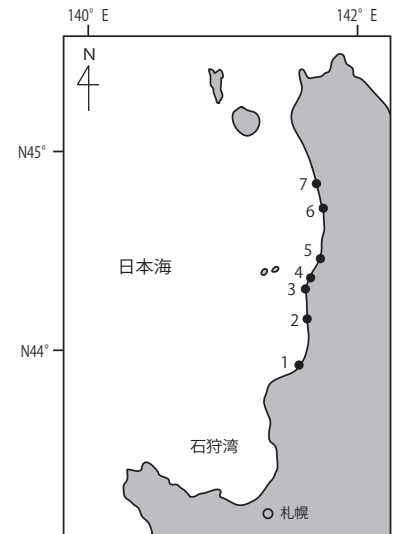


図1 調査地点
 (1. 留萌市沖見町, 2. 小平町字鬼鹿元浜, 3. 苫前町字栄浜, 4. 羽幌町港町, 5. 初山別村字豊岬, 6. 遠別町宇富士見, 7. 天塩町宇サラキン)



図2 漂着したギンカクラゲ
 (地点4. 羽幌町港町)